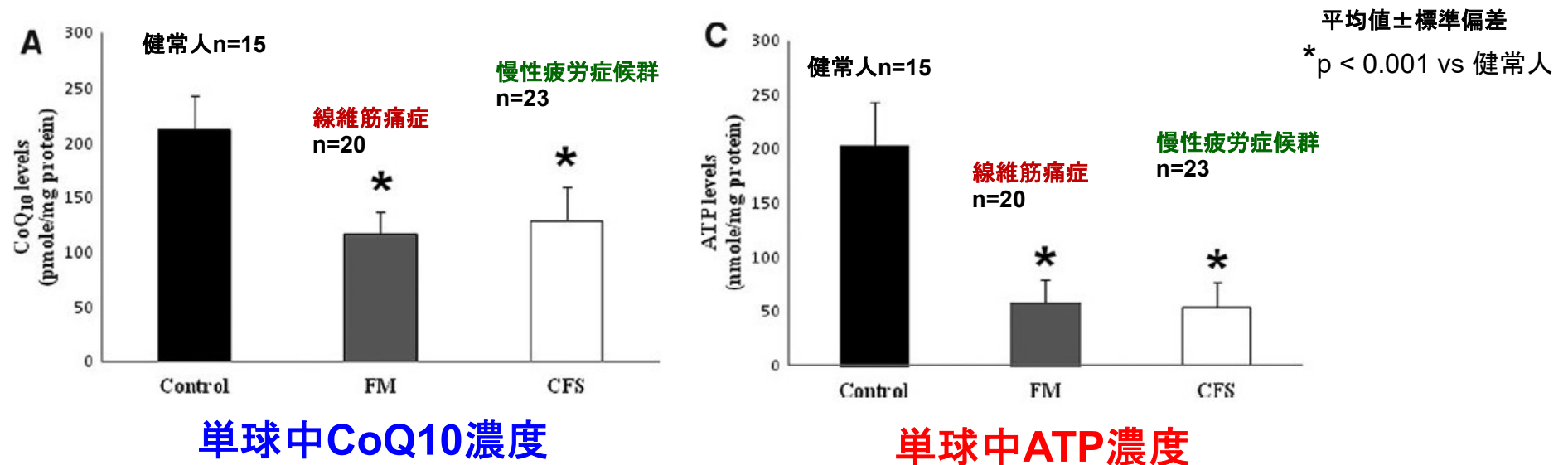


線維筋痛症(FM)患者と慢性疲労症候群(CSF)患者の 単球中CoQ10濃度とATP濃度

対象者

- 健常(Control): 15名, 男女比5/10, 43.5 ± 5.4 歳(平均 $\pm$ 標準偏差)
- 線維筋痛症(FM): 20名, 男女比5/15, 44.1 ± 3.8 歳
- 慢性疲労症候群(CSF): 23名, 男女比6/17, 45.5 ± 10.4 歳



- ◆ 単球中のCoQ10濃度は、健常者で高く、線維筋痛症(FM)や慢性疲労症候群(CFS)の患者では低かった。ATP濃度も同様の傾向であり、CoQ10濃度とATP濃度がリンクすることが示唆された。
※ATP: 生体のエネルギー通貨

(Castro-Marrero J et al, Antioxid Redox Signal. 2013;19:1855-1860より作成)

単球: 血液中の白血球の一種